

第309回 所長会議議事要旨

日 時 令和4年4月27日(水) 13:30～14:45

場 所 研究本館 小林ホール及びウェブ会議 (Zoom)

出席者 (構成員) 山内機構長、足立理事、内丸理事、岡田理事、幅理事、齊藤素粒子原子核研究所長、小杉物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林J-PARCセンター長(東海キャンパス所長)

(オブザーバー) 住吉監事、辻監事

(管理局等) 五味田総務部長、阿部財務部長、永木研究協力部長、外山施設部長、幸田参事役、柴沼参事役、坪監査室長、櫻井人事労務課長、仲島情報基盤管理課長、横山主計課長、長谷川経理課長、土田契約課長、岡田研究協力課長、丹生国際企画課長、佐藤施設企画課長、若林整備管理課長、柴原東海管理課長、日下田福利厚生室長、根本決算室長、岩見外部資金室長、島根共同利用支援室長、河西QUP業務推進室長、山口国際プロジェクト推進室長、鈴木資産マネジメント室長ほか

配付資料

1. 第308回議事要録(案)
2. 教員公募(素核研・研究機関講師・若干名)
3. 特定有期雇用職員の雇用計画について(測定器開発センター・特別事務専門職1名)
4. 特定有期雇用職員の雇用計画について(DX推進室・特別技術専門職1名)
5. URAの雇用計画・公募について(J-PARCセンター広報セクション・特任専任URA又は特任専門URA1名)
6. 技術職員採用人事委員会の設置について
7. 令和5年度概算要求について
8. 施設マネジメント推進委員会規則の一部改正について
9. つくばキャンパス自衛消防隊要領の改正について
10. 令和4年度加速器科学総合育成事業の審査結果について
11. クラウドファンディングの活用に関する基本契約書について
12. 一般寄附金の基金化について
13. 茨城大学との包括的連携協力協定の締結について
14. ATLAS検出器Phase IIアップグレードに関するCERNとのATLAS検出器建設覚書に関する補記の締結について
15. (別途配信資料) 国立天文台とのクロスアポイントメントの実施について
16. 令和4年度監事監査計画について
17. 令和4年度量子場計測システム国際拠点(QUP)雇用計画について
18. (席上配付あり) 2021年度短期海外招聘研究員・招聘研究員・特別招聘研究員報告書及び評価書について
19. (席上配付資料) 特定有期雇用職員の採用について

議 事

【1】 第308回議事要録について

資料1のとおり了承された。

【2】 協議

(1) 教員公募（素核研・研究機関講師・若干名）

齊藤素粒子原子核研究所長から、資料2に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(2) 特定有期雇用職員の雇用計画について（測定器開発センター・特別事務専門職1名）

齊藤素粒子原子核研究所長から、資料3に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(3) 特定有期雇用職員の雇用計画について（DX推進室・特別技術専門職1名）

足立理事から、資料4に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(4) URAの雇用計画・公募について（J-PARCセンター広報セクション・特任専任URA又は特任専門URA1名）

小林J-PARCセンター長から、資料5に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(5) 技術職員採用人事委員会の設置について

幅理事から、資料6に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(6) 令和5年度概算要求について

内丸理事及び幅理事から、資料7に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 施設マネジメント推進委員会規則の一部改正について

幅理事から、資料8に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。委員から、各研究所・研究施設の職員のうちから各2人以内の他に、東海キャンパスの職員のうちからプラスして2名以内ということなのか、との質問があり、各研究所・研究施設からの選出委員に東海キャンパス職員が含まれている場合は、東海キャンパス所長の判断による、との説明があった。

(8) つくばキャンパス自衛消防隊要領の改正について

幅理事から、資料9に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(9) 令和4年度加速器科学総合育成事業の審査結果について

岡田理事から、資料10に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(10) クラウドファンディングの活用に関する基本契約書について

足立理事から、資料11に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(11) 一般寄附金の基金化について

足立理事から、資料12に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(12) 茨城大学との包括的連携協力協定の締結について

岡田理事から、資料13に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

(13) ATLAS検出器Phase IIアップグレードに関するCERNとのATLAS検出器建設覚書に関する補記の締結について

岡田理事から、資料14に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

<協議事項 (14) はクローズド協議>

(14) 国立天文台とのクロスアポイントメントの実施について

羽澄量子場計測システム国際拠点長から、資料15に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。

【3】 報告

(1) 令和4年度監事監査計画について

住吉監事から、資料16に基づき報告があった。

(2) 令和4年度量子場計測システム国際拠点(QUP)雇用計画について

羽澄量子場計測システム国際拠点長から、資料17に基づき報告があった。委員より、QUP連携研究員の機構内での身分上の位置づけについて質問があり、拠点のPIと同様に「協力研究員」となる、との説明があった。また、条件となっていた研究員の3割外国人の雇用について質問があり、機構からの研究員の参画状況により外国人割合が下がるという構造的問題はあるものの、現段階ではクリアしている、との説明があった。

(3) 2021年度短期海外招聘研究員・招聘研究員・特別招聘研究員報告書及び評価書について

岡田理事から、資料18に基づき報告があった。

<報告事項(4)はクローズド報告>

(4) 特定有期雇用職員の採用について

櫻井人事労務課長から、資料19に基づき報告があった。

以上